



学生生活 Campus SEIJO

3号館特集号

No.216



CONTENTS

学長からのメッセージ	2~3	クラブ通信—スポットライト—	13
夏には、知らない世界を覗いてみよう		柔道部／映画研究部	
キャンパスマップ	4	文化部連合 六月祭	14~15
施設整備計画／1・4号館、特別2号棟見取り図	4~5	四大戦速報	16
3号館の主な施設概要／3号館見取り図	6~9	黎明(めーあ・りひと)	17
就職サポートプログラム	10~11	Campus Seijo News	18~19
夏季休暇中の合宿について	12	Campus Seijo Information	20~24

夏には、知らない世界を覗いてみよう

学長 清水 眞澄



視察中の清水学長

私は、今年4月に成城大学の学長に就任いたしました。最初の仕事は、新しく成城大学の教授になられた方々に辞令を渡すことでしたが、辞令交付の後にしばらく歓談するなかで、私は、これからの成城大学の教育と研究を支えてくださるこの先生方の、学生に対する強い情熱と意欲をうかがうことができ、非常に嬉しい初仕事であったと思えました。「教授と学生の対話がある大学」は、ややもすると、

人の存在が薄くなりがちな現代社会にあって、これからの大学にとって大切なことと思っておりますので、できるだけそのための環境造りをしたいと考えております。恐らくそこでは、この冊子の新生歓迎特集（No.214）で、私が学長挨拶として述べた「何のために大学に入学したのか改めて考えてみてください。」ということが、具体的なイメージとして、いくつも浮かび上がってくると思います。

さて、今成城大学は、イノベーション・プロジェクトの名の下に色々な改革や事業を進めております。今年で3年目を迎えます「社会イノベーション学部」を新たに設置したことや、今年からは全学部の学生が共通した科目を取得できる「全学共通教育カリキュラム」をはじめたこと、建築では昨年に情報ネットワークを統括する8号館、そして今年9月に教育・研究棟である3号館の建設を予定するなどがその内容です。このような活動が、今年度の受験者数が前年度比で法政大学に次いで関東では2番目に多い結果につながったのだと思います。このことはあまり知られていないのかもしれませんが、成城大学の学生が共有してもらいたい喜ぶべきことのひとつであります。

このプロジェクトの一つである3号館は、成城大学の正門から入ったすぐ目の前に立つ8階建ての建物です。教室と教員の研究室が入るこの建物の1階に、広々とした学生ホールができます。学生諸君が憩いを楽しみ、友人と交流を深め、時には勉学の場となる空間です。是非ともこの空間から、実り多き芽と幾重にも重なる輪が生まれることを心から願っております。

私は、学長に就任した最初の所信表明で、成城大学を「未来社会に貢献する」大学と位置づけました。その意味は、成城大学が目指す、学生の育成も、優れた研究も、

その他の活動も結果的に社会に還元されるすなわち貢献することなのだということです。これから夏休みを迎える学生諸君に、このことをもう少し説明しておきたいと思います。

「未来社会に貢献する」というと、いささか硬い話となって、環境問題に取り組むとか、ボランティア活動をするとかを想像すると思いますが、私の掲げる「未来社会に貢献する」は、目の前のことではなく、未来までを想定したもっともっと広い話です。例えていうならば、哲学とか文学とか芸術とか、直ぐに役に立たず、経済的な成果があるわけでないものが、実は歴史を振り返ってみても、これまでの人間形成にとって最も重要であるということです。

今年の夏休み、是非諸君に勧めます。知らない世界を覗いて見ることを……。のんびりと汽車の旅。初めての油絵に挑戦してみよう。歴史的な名著『ローマ帝国衰亡史』を読んでみるのもいい。ダンス、水泳、テニス、スポーツにのめりこんでみたら。山登り。仏像めぐりはどうだ。……勧めるものはいくらでもつづきます。私自身が今一番したいことを並べたのですが、きっと何かを諸君は得ると思います。まずは、普段自分自身と向き合う機会がなかったことに気が付きます。そして、ある時なんとなく自分を鏡のなかに発見いたします。また、他人のことにも眼がいくようになるでしょう。改めて他人との関係の素晴らしさを噛みしめると思います。

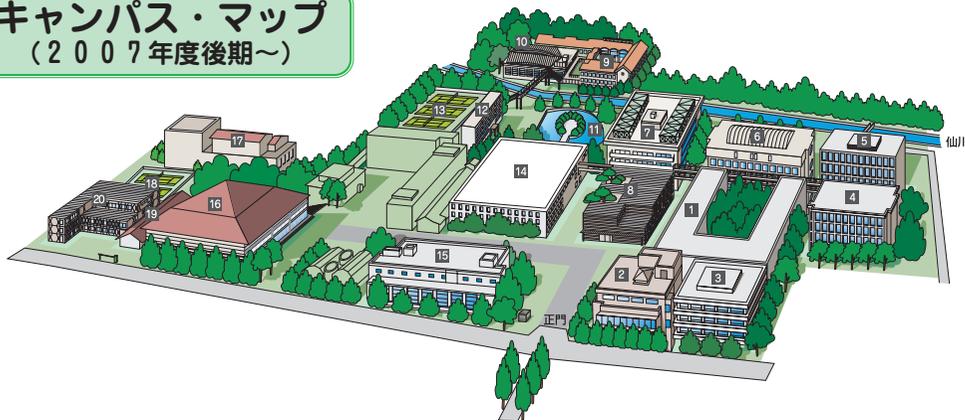
そして、夏休みが終わり後期の授業が始まったら、そんな知らなかった世界を覗いた報告を、友人達にしてみたらどうでしょうか。その頃には新しい3号館が完成して、ピカピカの学生ホールが諸君を待っているはずですよ。



建設中の3号館

キャンパス・マップ (2007年度後期～)

キャンパス・マップ (2007年度後期～)



- 1 1号館
- 2 図書館
- 3 4号館
- 4 5号館
- 5 8号館
- 6 7号館
- 7 2号館
- 8 特別2号棟
- 9 体運クラブハウス
- 10 トレーニングセンター
- 11 成城池
- 12 文連クラブハウス
- 13 第1テニスコート
- 14 3号館
- 15 法人事務局・大学食堂棟
- 16 五十周年記念講堂(母の館)
- 17 第1体育館
- 18 第2テニスコート
- 19 大学特別教室棟
- 20 特別3号棟

施設整備計画(3号館・1号館・2号館・4号館)に伴う教室・事務室・研究室の移転について

3号館の竣工を9月に控え、併せて2号館の耐震工事・1号館中央棟および南棟の改修工事・4号館改修工事が予定されています。

工事日程	7月			8月			9月			10月			11月			12月			
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	
3号館建替え工事	→																		
1号館中央棟改修工事				→															
4号館改修工事		→																	
1号館南棟改修工事							→												
2号館改修工事										→									

3号館竣工および工事に伴い、事務室・研究室等の移転が行われますのでご注意ください。

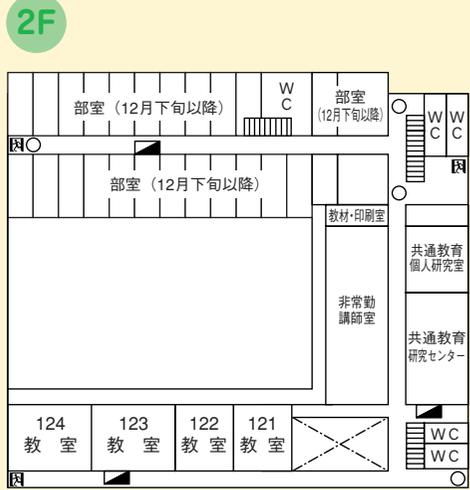
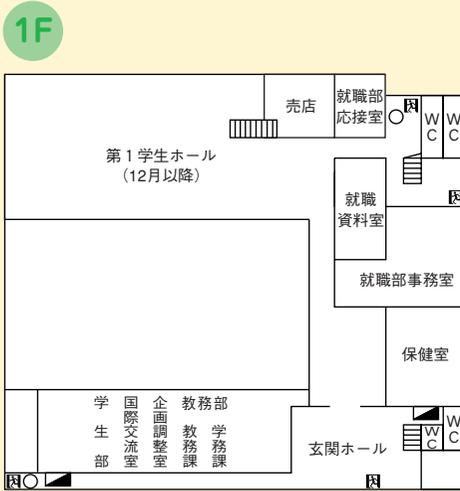
また、後期からの各授業の教室変更は、掲示および「Campus Square for Web」でお知らせしますので、確認してください。

移転・閉室事務および研究室等	移転先	7月			8月			9月			10月			11月			12月			
		上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	
文芸6学科研究室	閉室(後期より3号館)				→						未定	文芸学部共用研究室(3301)								
経済・文芸・社会イノベーション学部	3号館(8~9頁参照)									→										
就職部・保健室	1号館中央棟へ移転									→										
学生相談室	4号館1階へ移転									→										
経済学研究科院生研究室	4号館2階へ移転									→										
学長室・入試広報部・総務課・管理課	特別2号棟へ移転									→										
証明書自動発行機(1号館学生ホール内)	閉鎖				→															

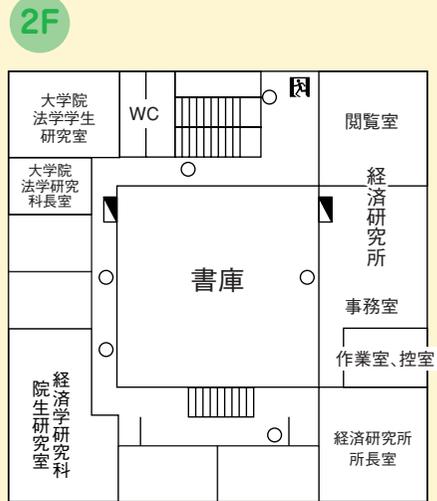
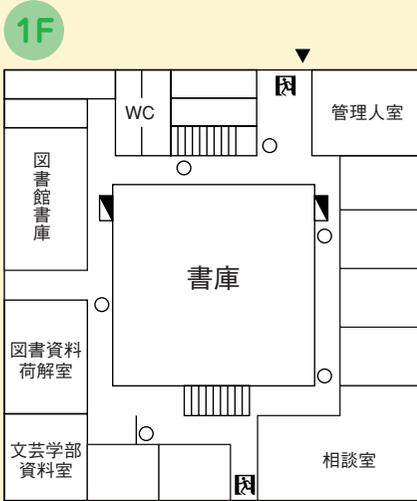
※上記は7月19日現在の情報。工事の関係上、変更が発生する場合があります。

1・4号館、特別2号棟見取り図

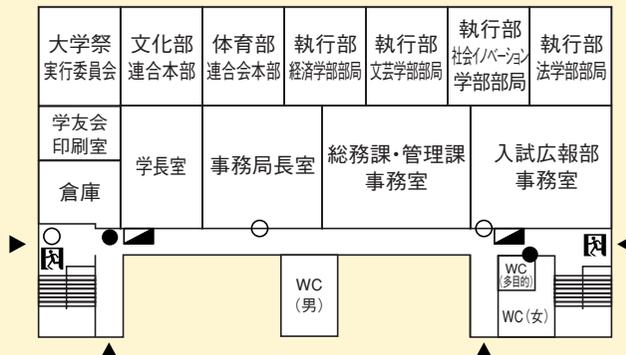
1号館



4号館



特別2号棟



3号館の主な施設概要

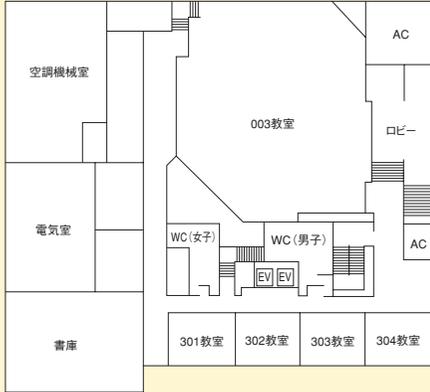
8F	教員研究室	
7F	教員研究室	
	文芸学部ラウンジ 1箇所	
6F	教員研究室	
5F	教員研究室	
	経済学部ラウンジ 1箇所	
4F	経済学部共用研究室、経済学部専任講師控室、経済学部事務室、社会イノベーション学部事務室 他	
3F	文芸学部共用研究室、教員研究室 他	
2F	321教室 (180人)	AV機器、プロジェクター・スクリーン2台構成、教師用PC 書画カメラ (OHC)、後列席用プラズマディスプレイ2台構成を2対
	322教室 (240人)	AV機器、プロジェクター・スクリーン2台構成、教師用PC 書画カメラ (OHC)、後列席用プラズマディスプレイ2台構成を2対 遠隔講義システム (003教室および8号館各教室と双方向映像音声送受信可)
	32A~32L教室 (30~35人、ゼミ教室)	スクリーン常設、移動式AVワゴン・プロジェクター 移動式50インチプラズマディスプレイ+ビデオ・DVD+PC 移動式50インチプラズマディスプレイ+ビデオ・DVD+PC+板書システム用タッチパネル
	ロビー 2箇所	
1F	311教室 (180人)	AV機器、プロジェクター・スクリーン2台構成、教師用PC 書画カメラ (OHC)、後列席用プラズマディスプレイ2台構成を2対
	312教室 (100人)	AV機器、プロジェクター・スクリーン2台構成、教師用PC 書画カメラ (OHC)
	学生ホール 売店、自販機コーナー	
	ロビー 1箇所	
	ピロティ	
BF1	003教室 (450人)	AV機器、プロジェクター・スクリーン2台構成、教師用PC 書画カメラ (OHC)、遠隔講義システム (322教室および8号館各教室と双方向映像音声送受信可)
	301~304教室 (30人、少人数語学等使用教室)	スクリーン常設、移動式AVワゴン・プロジェクター 移動式50インチプラズマディスプレイ+ビデオ・DVD+PC
	ロビー 1箇所	

凡例： 教室 共同スペース 事務スペース その他

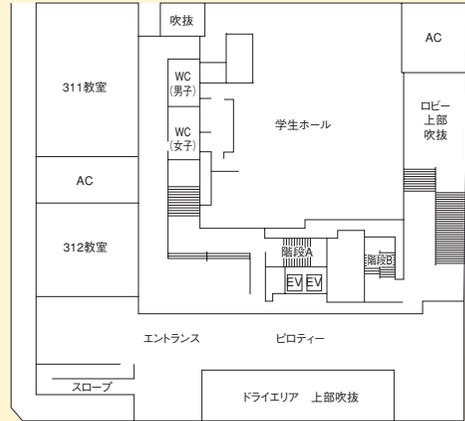
3号館見取り図

3号館

B1F



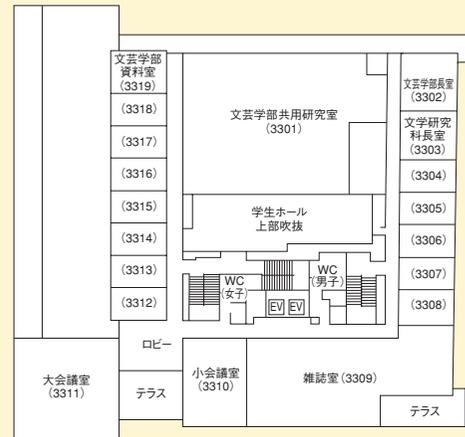
1F



2F



3F



4F

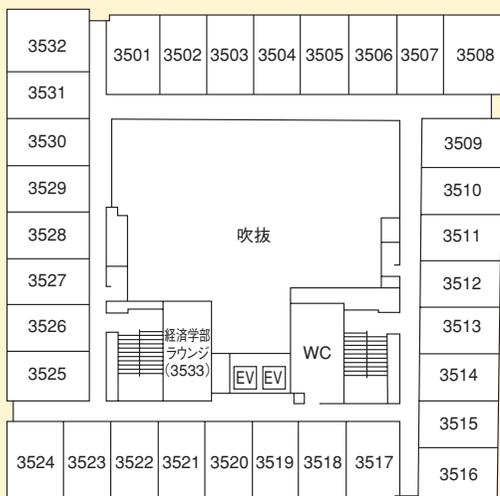


3F専任教員研究室一覧

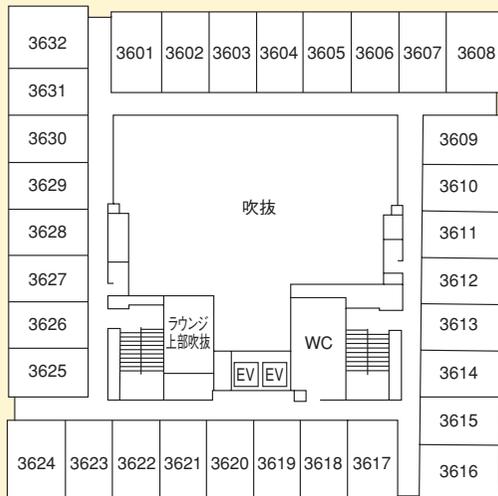
〔ア〕		〔サ〕	
石村 広	3313	清水 眞澄	3312
上杉 富之	3314	〔タ〕	
〔カ〕		高木 昌史	3318
北山 研二	3308	〔マ〕	
木村 建哉	3316	森 暢平	3305
工藤 力男	3315		
窪田 三喜夫	3307		
F. コーザ	3317		
小林 真由美	3306		

3号館見取り図

5F



6F



5F専任教員研究室一覧

〔ア〕		〔タ〕	
相原 章	3528	立川 潔	3513
明石 茂生	3517	中條屋 進	3529
浅井 良夫	3510	塚原 英敦	3531
岩崎 尚人	3501	塘 誠	3503
上田 晋一	3527		
白井 英之	3508	〔ナ〕	
		中村 理香	3505
〔カ〕		〔ハ〕	
海保 英孝	3506	花井 清人	3512
神田 範明	3522	福光 寛	3521
木下 直也	3514		
木村 周市朗	3511	〔マ〕	
木綿 良行	3516	牧野 陽子	3525
小平 裕	3532	〔ヤ〕	
		山口 一臣	3509
〔サ〕		山重 芳子	3507
斉藤 昭雄	3524	油井 雄二	3515
杉本 義行	3530		

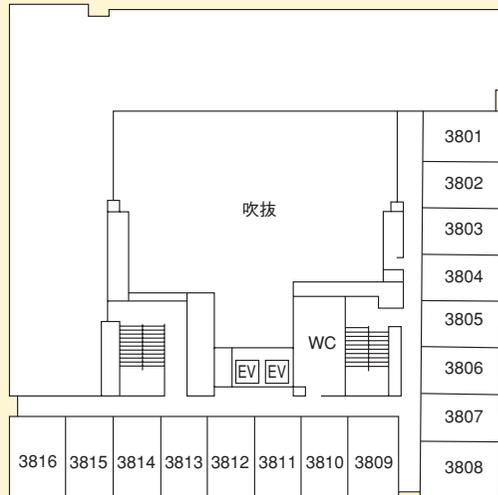
6F専任教員研究室一覧

〔ア〕		〔タ〕	
青木 健	3617	高原 照弘	3602
池田 一彦	3626	田中 宣一	3607
石鍋 真澄	3616	鶴見 良次	3611
岩田 一正	3606		
岩本 修巳	3624	〔ハ〕	
上野 英二	3603	古田 尚輝	3614
大津 武	3621	堀内 圭子	3628
大森 弘喜	3623	〔マ〕	
奥田 秀宇	3613	松川 祐子	3601
小田 亮	3612	松田 美作子	3604
		村瀬 鋼	3618
〔カ〕		毛利 三彌	3632
小島 孝之	3629	〔ヤ〕	
後藤 昭雄	3609	横塚 祥隆	3625
小林 義武	3631	吉田 正治	3627
〔サ〕			
境 新一	3620		
塩川 千尋	3608		
篠川 賢	3605		
末永 朱胤	3610		
杉本 豊久	3630		
千足 伸行	3615		

7F



8F



7F専任教員研究室一覧

〔ア〕		〔女〕	
相澤 正彦 3720	津上 英輔 3732		
青池 慎一 3713	都筑 幸恵 3706		
有田 英也 3728	戸部 順一 3718		
石原 邦雄 3702	富山 典彦 3729		
一之瀬 正興 3727			
遠藤 健哉 3710	野島 久雄 3704		
小澤 正人 3709			
	〔ナ〕		
〔カ〕	林田 伸一 3723		
加藤 敦宣 3714			
川上 善郎 3725	〔マ〕		
木畑 和子 3730	松崎 憲三 3722		
小島 孝夫 3721	南 保輔 3715		
後藤 将之 3731	宮崎 修多 3719		
	森田 孟 3716		
〔サ〕	〔ヤ〕		
篠原 光伸 3712	矢澤 修次郎 3701		
新垣 紀子 3705	谷内田 浩正 3717		
十川 廣國 3711	吉原 健一郎 3726		
	〔ラ〕		
	劉 穎 3724		

8F専任教員研究室一覧

〔ア〕		〔ハ〕	
伊地知 寛博 3811	平井 正子 3809		
内田 真人 3810	平井 康大 3805		
大隈 宏 3808	古川 良治 3804		
大家 亮子 3802	〔マ〕		
	〔カ〕		
川村 晶彦 3812	宮沢 栄次 3806		
	村田 裕志 3801		
〔サ〕	村本 孜 3816		
斎藤 忠志 3814	〔ヤ〕		
櫻井 一彦 3803	山田 直巳 3807		
	〔ラ〕		
手塚 公登 3815	D.リチェズ 3813		

平成19年度 3年生対象「就職サポートプログラム」～就職活動の流れを

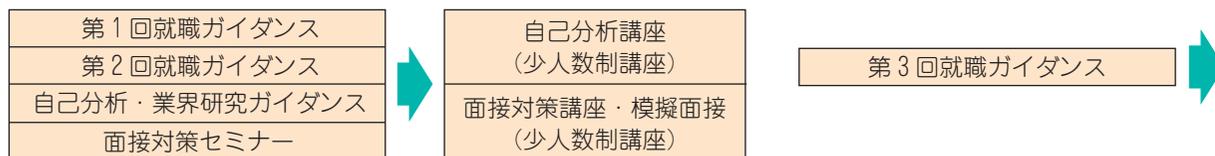
大教室を利用した主な講演スタイルガイダンス

セミナー、講座名	時期	内容
第1回就職ガイダンス (就職活動キックオフセミナー)	6月21日	就職とは？就職活動とは？就職活動を始めるに
自己分析ガイダンス	6月28日	自己分析とは？なぜ就職活動に自己分析が必要
業界・職種研究ガイダンス	7月9日	「業界研究」を進めるにあたっての説明。業界
R-CAP解説会	7月12日	職業適性アセスメントテストR-CAPを受検し
第2回就職ガイダンス	7月27日	夏休みの過ごし方 就職支援サイトについて（活用・利用方法）
第3回就職ガイダンス	10月上旬	夏休みの復習と今後の具体的な取り組み方（就 エントリーシート対策 業界研究
業界研究ガイダンス	10月上旬	就職活動における業界研究の具体的な取り組み方
内定者報告会	10月下旬	4年生で企業から内定を得た学生の活動報告
学内業界・企業セミナー	10月～12月	各業界のリーディングカンパニー1、2社を学
筆記試験対策ガイダンス（全4回）	6月～12月	筆記試験（SPI試験、一般常識テスト）とは

少人数制の講座スタイル等

セミナー、講座名	時期	内容
自己分析講座	10月下旬	少人数制の自己分析講座（具体的な自己分析の
グループディスカッション講座	11月（予定）	少人数制のグループディスカッション体験講座
面接対策講座（模擬面接）	未定	企業での面接試験を想定した模擬面接実施
エントリーシート対策講座	10月中旬スタート 月2～4回	第3回就職ガイダンス（エントリーシート対策）

イメージ図



Q 今年の4年生の就職活動状況はどうですか？

A 景気回復の影響で採用状況は好転し、学生側の売り手市場となっていますが、必ずしも全員が希望企業から内定を得ているとは限らないというのが現状です。やはり事前の準備をしっかりしていた学生さんは、比較的希望業種・企業から内定を獲得しているようですが、自己分析が十分ではない状態で自己PRを作成し、就職試験に臨んでいる学生さんの中には、なかなか内定を獲得できない方も少なくないようです。また、大企業志向が強い学生さんの中にも、内定を獲得できていない方が多いようです。単にその企業が有名かどうか、また、大企業なのか中小企業なのかだけで企業を選んで就職活動している場合は、結果的に決まりにくいという状況もあります。一般的に有名であるかどうかや大企業かどうかだけで企業選びをせずに、じっくりと業界研究をして、自分に合う企業探しをしていくことが重要です。

確認しよう～

あたっての心構え、年間予定を説明
なのか？（自己分析導入編）
とは、職種とは？
て、その結果をふまえた解説会
職活動実践編)
について
内に招いて業界の説明を中心にガイダンス
？模擬試験を実施

方法)
をふまえての少人数講座

エントリーシート対策講座
(少人数制講座)

グループディスカッション講座
(少人数制講座)

就職活動Q&A

Q 本学卒業生の就職先（業界）にはどのような特徴がありますか？

A 学部学科で極端な片寄りはなく、各業界に満遍なく進んでいますが、割合としては、金融業界への就職が多いです。また、マスコミ・サービス業への就職も多いです。

Q 就職活動準備はいつから（何年生のいつ頃から）始めればいいのでしょうか？

A 「いつから始めなければ間に合わない」ということはありませんが、できる限り早く取り組みをスタートさせることが重要だと思います。就職部では、就職活動のためのセミナーやガイダンスを3年生の前期から展開しています。詳しくは左表の3年生対象「就職サポートプログラム」～就職活動の流れを確認しよう～で確認してください。

Q 1、2年生の段階でなにかやっておいた方がいいことはありますか？

A 就職を意識して特別に何かをやっておくというよりは、学生時代にしか出来ないこと（部活動やボランティアなど熱中できること）に一生懸命取り組むことが大切です。就職活動において、自分を売り込んでいくこと＝自己PRは、学生時代の経験がものをいいます。時間が多くとりやすい学生時代だからこそ、熱心に物事に取り組み、そこから多くのことを学び経験しましょう。

Q 地方出身で、Uターン就職を考えていますが、どのように情報収集をすればいいのでしょうか？

A 東京にいながらも地方企業の求人を探すことは可能です。都道府県別の就職情報誌、学生職業センター、各都道府県東京事務所での情報収集、地元新聞求人情報、地元商工会議所の利用などを積極的に活用すると共に、それぞれの地方企業合同説明会等を利用することをお勧めします。また、就職部資料室でも資料を取り扱っています。

Q 公務員を志望していますが、民間企業への就職活動と並行して取り組むことは可能ですか？

A 公務員試験対策と就職活動の両立は時間的にかなり厳しいことは確かですが、最近では、秋以降の採用も増えていますので、公務員試験の結果が出てから就職活動をスタートしても遅くはありません。

夏季休暇中の合宿について 《学生部》

～ 保護者の皆様へ～

学期末定期試験が終わり夏季休暇に入ると、ゼミナール、文化部連合（30団体）、体育部連合会（39団体）、特別機関（4団体）、執行部所属研究団体、さらにサークルとして活動している団体等の学生が全国で合宿を行います。

各団体が、キャンパス内での学習および活動から学外へと環境を変え、計画的な合宿生活を送ることになりますが、教員や友人の人間性とふれあうこと、あるいは監督・コーチ、先輩等の指導のもとに、集団生活の中で知識や技術の向上をはかることを目的とする合宿活動は、協調性や忍耐力、責任感を養い、計り知れない多くの成果が期待されます。これらの活動に対し、本学は全面的に支援し、それぞれの合宿が無事に行われるよう、以下のような指導体制で臨んでいます。

本学の課外活動は顧問制

本学公認の課外活動団体はすべて顧問制をとり、顧問の指導・助言のもと、都合のつく限り顧問が同行して合宿を実施しています。

合宿届の提出

合宿に際しては、原則として7月27日までにゼミナールは指導教員の、各クラブは顧問教員の下承を得て、学生部に合宿届（参加者氏名・合宿期日・場所等を明記）を提出します（体育部連合会所属団体は体連顧問にも提出）。また、文・体連、各学部部会の組織に属さない、いわゆるサークルの合宿についても、学生部に合宿届を提出させています。これらの団体にも、公認団体と同様、学生部において必要な指導・助言を行っています。

保護者同意書の提出

合宿には、原則として顧問が都合のつく限り同行することになっていますが、同行のない場合、または必要と思われる各部については、保護者の同意書をいただいたうえで合宿を許可しています。同意書の提出については、各家庭において、お子様の活動について明確に知りおいていただくためのものです。

合宿前ガイダンスの実施

夏季合宿の無事遂行を願って、毎年合宿実施前にガイダンスを実施しています。本年度も7月26日に学生部長、文・体連顧問、保健担当厚生補導委員、各団体の学生責任者が一堂に会し、合宿時の注意や伝達などを以下のとおり行いました。

◎合宿時の健康管理

- ・熱中症の予防と応急処置／怪我の応急処置／緊急を要する怪我等の対応等…資料配付および説明
- ・救急薬品について…各団体で学生部に申し込めば、応急処置のできる救急パックを無料で貸し出します。
- ＊全学生が受検する年1回の健康診断の他に、夏季合宿前に健康診断（心電図、血圧、検尿、医師による問診など）を体連各役員およびその他必要のある部員対象（本年度受検者…676名）に実施しております。

◎万一事故等の緊急事態が発生した場合：不測の事故等が発生した場合は、責任者が学生部に連絡をとる。

なお、本学では、全学生を対象にして「学生教育研究災害傷害保険」に加入しておりますので、手続きに漏れないよう学生部と緊密な連絡をとるよう指導しています。

◎合宿終了の連絡：合宿が終了した時点で、責任者が必ず学生部に報告する。

学生部：03-3482-9081 / 学園正門案内所：03-3482-1452（時間外）

以上のようなことに重点をおいて指導・助言を行っておりますが、保護者の皆様もお気づきの点やご希望、不明な点等がありましたら、学生部に遠慮なくご連絡ください。学生部といたしましても、各団体が無事に、合宿の目的を達成できるよう心から願っております。

柔道部 「明るく、楽しく、厳しく」

こんにちは、柔道部です。みなさんは、「柔道」と聞いてどんなイメージを持つでしょうか？たぶん、痛い・キツイ・苦しいなどあまり良くないイメージを持つと思います……。確かに、稽古はキツく、つらいです。しかし、その稽古の成果が試合で発揮され、勝利することができた時、言葉では表現できないくらいの喜びを手にすることができます。逆に、試合に負けてしまった時は、涙がこぼれるくらい悔しい思いをします。柔道の試合は野球やサッカーと違い、個人対個人のガチンコ真剣勝負です。なので、勝った時の喜びも負けた時の悔しさも、全部自分自身に跳ね返ってきます。



武道場にて

悔しい思いよりも喜びを味わいたい！！それがモチベーションとなり、より上の目標を目指して、厳しい日々の稽古に励むことができます。

現在、柔道部は、男子9人女子3人の計12人と少ない人数で活動しています。しかし、部員全員が皆それぞれ明るく、素晴らしい個性を持っているのでとても楽しい部活です。また、厳しい上下関係もないので、雰囲気も大変良いです。稽古は、各自が自分の目標に向かって鍛練を積むだけでなく、先輩後輩関係なくお互いにアドバイスしあうなど切磋琢磨しています。

このように、我々柔道部は月・木・金・土と週4日活動しています。月・金・土は文連クラブハウス1Fの大学道場で、木は第二グラウンド横の高校道場で練習しています。柔道に興味がある人はもちろん、格闘技に興味のある人、体を鍛えたい人など是非一度、見学に来てみてください。男子だけでなく女子も歓迎です。部員一同、心よりお待ちしております。

主将：榊原多香人 (社イノ3C)



映画研究部

『映画を撮り、上映する部活』それが私たち成城大学映画研究部です。映画を撮りたい、映画に興味ある人が集まり日々映画制作や映画批評に励んでいます。定期上映会は年に3回、6月、10月、12月に開催し、また番外上映で4月に新歓上映会、11月に学祭上映会も行っております。研究部としては年間20〜30本ほどデジタルビデオにての映画制作、1〜2本8mmフィルムにての制作をしています。

自分達が作った作品を上映する以外にも精力的に活動をしており、本年度は4月に『虹の女神』（2006 熊澤尚人監督）の学内特別上映会と熊澤監督のトークイベントを開催しました。そして2007年12月15日（土）には成城大学構内にて全国各地から自主映画を募集、選考した作品の中からグランプリを決めるというコンペティション式の映画祭『第四回成城大学映画研究部主催映画祭TAKE∞（ゼロ）』を開催する予定です。この映画祭に参加すれば自主映画の素晴らしさ、凄さ、商業映画にはない自主ならではの面白さを痛感できること間違いなしです。ぜひお越しくださるよう心よりお待ちしております。（映画祭HPは <http://takezero.xxxxxxx.jp/>）

最後に映画は一人ではできません。監督、スタッフ、役者が力を合わせて作り上げるチームワークが必要です。一つの作品を創り上げる上でお互いに喧嘩したりすることもありますが、それ以上に笑ったり、楽しんだり、喜びを感じたりしています。映画を見ることも楽しいですが、映画を撮ること、自分の世界を創り上げることもとても楽しいことです！これから『自分達の世界』を創造していきます！



クランクアップ後にメンバーと記念撮影

部長：大久保 愉伊 (文3C)

文化部連台 六月祭

文化部連台所属団体による「六月祭」がおこなわれ、各団体の公演や展示などが発表されました。

	団体名	期日	内容	場所
学内	E.S.S	未定 (麻疹休講措置のため延期)	英語劇	002教室
	茶道部	6月14日	茶会	学生ホール
	映画研究部	6月14日～15日	上映会	002教室
	落語研究会	6月16日	公演	002教室
	華道部	6月18日～21日	展示	学生ホール
	写真部	6月25日～7月5日	展示	学生ホール
	美術部	6月28日～30日	展示	学食棟地下ミーティングルーム
	演劇部	6月30日～7月1日	公演	002教室
	レストロ・アルモニコ管弦楽団	7月1日	メイフラワーコンサート	五十周年記念講堂
成城ボランティア部	7月4日	献血会	学生ホール	
学外	狂言研究会	6月2日 (麻疹休講措置のため不参加)	自演会	鏡仙会能楽研修所 (青山)
	軽音楽部	6月7日 (麻疹休講措置のため不参加)	関東7大学音楽祭	下北沢タウンホール
		6月27日	6月祭ライブ	下北沢Cave-be
	アメリカ民謡研究会・ギター部・軽音楽部	6月13日	合同ライブ	下北沢モザイク
	合唱部	6月29日	演奏会	オリンピックセンター
	ダンス部	6月29日	公演	CODE (新宿)

茶道部



こんにちは。茶道部では去る6月14日に学生ホールにて六月祭茶会を催しました。この六月祭茶会では、普段あまり抹茶を飲む機会が無い方々にも気軽にお茶を楽しんで頂くと思い、無料でお茶とお菓子をお出ししました。昼休みには、多くのお客様に来て頂き、大成功のうちに終わることができました。



映画研究部

私達映画研究部は去る6月14・15日の2日間、2号館002教室にて



定期上映会 TAKE1 を開催しました。この上映会は自分たちが制作した自主映画を発表するものであり、今年は10本上映され、成功のうちに終わる事ができました。また、今年12月学内にて全国から自主映画を公募しグランプリを決めるコンペティション式の映画祭 TAKE∞ (ゼロ) も開催いたします。皆様のご来場を心よりお待ちしております。



落語研究会



ど〜も〜落語研究会でえ〜す。私たち落語研究会は去る6月16日に2号館002教室にて「気ままに独演会」として六月祭公演会を開催しました。この公演は、漫才・コント・落語を新入部員をふくめて皆でおこない1年間の部内の雰囲気をつくりあげていくことを目的としています。お客様の笑顔をみる事ができ、大成功のうちに終わることが出来ました。



華道部



華道部では、6月19・20日に今年も「六月祭」と題した展示会を学生ホールで行いました。

和気あいあいとしていつも明るい華道部ですが、その雰囲気にとりまじり初夏にふさわしい鮮やかで清々しい作品に仕上がりました。

学園祭では、今回生けられなかった1年生も加わりより華やかに、より稽古の成果を発揮できる作品を披露したいと思っております。どうぞご期待下さい。



写真部



私たち写真部は、6月25日から7月5日まで1号館学生ホールにて写真展を行いました。通路にボードを立てての展示だったので、移動中に足を止め写真に見入っている姿をよく見かけました。学生にとどまらず、先生方や校外の多くの方々に見てもらうことができたと思います。



美術部



私達美術部は6月28日から6月30日まで、学生喫茶となりのミーティングルームで学内展を開催しました。教室は森をイメージした装飾を施しました。4月からの新入部員の作品はもちろん引退した4年生まで、様々な作品を展示することができました。

多くの成城生や先生方に足を運んでいただき、大変有意義な展示会となりました。



演劇部



我々演劇部は6月30日、7月1日の2日間、6月公演「Dの呼ぶ声」を公演しました。

キャスト・スタッフのほとんどが1年生でありながらも、それぞれの努力と全員の団結力により、練習以上の、満足のいくものを作ることが出来ました。

観に来ていただきました方々、本当にありがとうございました。今後も皆様のご意見を参考により良いものを作っていきますので、今後ともよろしくお祈りします。



リストロ・アルモニコ管弦楽団



私たちは、7月1日、五十周年記念講堂にて第30回メイフラワー・コンサートを行いました。一時は、はしかの影響で開催が危ぶまれましたが、当日は多くのお客様にご来場いただき、私たちの演奏を楽しんでいただくことができました。また、今回は30回目の記念の講演会でもあり、楽団の歴史に新たな1ページを加えることができました。

ボランティア部



我々ボランティア部は、7月4日に1号館にある学生ホールにて献血会を実施しました。はしかの影響で例年のように6月中の実施というわけにはいきませんでした。当日は数多くの方が協力してくれました。この活動は日本赤十字の職員の方々や部員が積極的に学内で呼び込みをし、大成功でした。今後も継続して実施していきますので、ご協力をお願いします。

四大戦速報

「47年ぶり2度目の優勝へ」

本年度、第58回四大学運動競技大会は、10月19日～21日、成蹊大学で開催されます。成城大学は昨年、総合成績では4位だったものの、第52回大会以来5年ぶりに一般種目で2位になることができました。

今年は、昨年の勢いそのままに一般種目優勝、そして正式種目もひとつでも上を目指し、成城大学の47年ぶり2度目の総合優勝を成し遂げたいと思っております。

四大戦の歴史に名を刻み、勝利の校旗を掲げるのは我が成城大学です。
いざ成蹊大学へ!!



四大戦推進局長
加藤 大騎 (男子ラクロス部)

正式種目得点表

	成蹊	武蔵	成城	学習院
アイスホッケー		日程未(三大戦)		
アメリカンフットボール	1	4	3	2
駅伝(男)	本戦: 10月21日			
駅伝(女)	本戦: 10月21日			
弓道(男)	1.5	2	1.5	2.5
弓道(女)	2.5	2	1.5	1.5
剣道(男)	本戦: 10月20日			
剣道(女)	本戦: 10月20日			
硬式庭球(男)	7月8日			
硬式庭球(女)	7月8日			
硬式野球	8月22日・23日			
ゴルフ	7月13日			
サッカー	8月中旬			
自動車	10月19～21日			
柔道	本戦: 10月21日			
水泳	8月13日			
水球	7月4日			
スキー(男)	2.5	1.5	1.5	2
スキー(女)	2.5	1.5	2	1.5
漕艇	2.5	1.5	2	1.5
卓球(男)	本戦: 10月20日			
馬術	本戦: 10月20日			
バスケットボール(男)	4	1	2	3
バスケットボール(女)	2	1.5	1.5	2.5
バドミントン(男)	本戦: 10月19日・20日			
バドミントン(女)	本戦: 10月19日・20日			
バレーボール(男)	3	1	2	4
バレーボール(女)	2	4	1	3
ハンドボール	1.5	2	1.5	2.5
ホッケー(男)		日程未(三大)		
ホッケー(女)		日程未(三大)		
洋弓(男)	本戦: 10月19～20日			
洋弓(女)	本戦: 10月19～20日			
ヨット	10月上旬			
ラクロス(男)	7月8日			
ラクロス(女)	日程未(三大戦)			
ラグビー	7月1日			
陸上競技	9月29日			
点数合計(6月25日現在)	25	22	19.5	26

一般種目出場者

	順位	チーム名
硬式テニス(男) D	1位	山口真とスズキ
	2位	同調(シンクロ)
	3位	チーム831
硬式テニス(女) D	1位	〇(マル)
	2位	Wミニ
	3位	ロクフルサン
硬式テニス(混) D	1位	K.Y.
	2位	(未定)
サッカー	1位	F.C.Carioca A
	2位	ARAGOSTA
ソフトボール(男)	1位	だんらく
	2位	サバタリアン
	3位	木村・ホンマン・善行
ソフトボール(女)	1位	成城ドジャース
卓球(男) S	1位	藤浪 友
	2位	大森 優
卓球(男) D	1位	厚生部
	2位	チームたけだ
卓球(女) S	1位	大村 倫世
卓球(女) D	1位	たまこ(完)
卓球(混) D	1位	藤浪
	2位	成城のテポドン
軟式テニス(男) D	1位	明戸中学
	2位	南公園(サウスパーク)
軟式テニス(女) D	1位	MAKES FRIENDS
	2位	(未定)
軟式テニス(混) D	1位	(未定)
	2位	(未定)
軟式野球	1位	HTO(ホッジスと小田)
	2位	ドジャースA
バスケットボール(男)	1位	大和(ボラ)
	2位	嵐
	3位	スプリッツA
バスケットボール(女)	1位	嵐
バドミントン(男)	1位	遠藤・北村
	2位	アンドウサトウ
バドミントン(女)	1位	狩人
バレーボール(男)	1位	ティモンズA
	2位	ティモンズB
	3位	BReZE A
バレーボール(女)	1位	ティモンズA
	2位	ティモンズB
女子フットサル	1位	ムコスSeijo



めーあ・りひと

黎明



“波に乗ってみよう”

社会イノベーション学部教授 伊地知 寛博

皆さんは、授業以外で普段どのように外国語を耳にしたり、世界の文化に接したりしていますか？ NHK外国語講座のラジオ放送や、あわせてCD（あるいはかつてであればカセット・テープ）を聞いているという方は少なくないかもしれません。私自身が皆さんと同じ大学生の頃には、実はこの方法にあまり関心が持てませんでした。最近では日常のありふれた状況が会話に取り入れられてきているような気がしますが、当時は型にはまって作られたような自然でないシチュエーションの会話（ピニエット）が多く、それを聞くことに無意識になじめなかったのかもしれませんが（いや単に根性がなかったかもしれません(?)）。それで、私の場合は、その頃は、FEN（現在のAFN）のラジオ放送を、部屋で、また外出時にはイヤホンで聴くラジオを携帯して、聞き流すということをよくしていたように思います。

ところで、AMラジオは、その電波の特性から、送信出力にもよりますが障害が少なければ、夜間は比較的離れたところでも聞くことができます。西日本に住んだことのある方ならば経験があるかもしれませんが、チューナーを回すと、韓国・朝鮮語や中国語による放送が、日本国内の放送と並んで流れてきます。それでも、普通に話されている外国語を都内で本当に容易に聞くことのできる放送局となると、かつては英語によるFENくらいしかありませんでした（外国語を比較的多用するJ-WAVEやInterFMが開局するのはそれよりも後になってからのことです）。

それがいまや、英語はおろか、フランス語でも、スウェーデン語でも、何語でも、現地でFMやAMでラジオ放送されている番組とまさしく同じものを、場合によっては地球の反対側からであるにもかかわらず、ほとんど雑音なしに聞くことができます。それは、ご存じのように、インターネットが普及したからです。

ラジオ番組では、ほぼ普通の会話が交わされ、アナウンサーが話すだけではなく、他の出演者やリスナー（聴取者）などの生のやり取りも含めて流れます。放送局によってはその地の状況を反映した広告が流れる場合もあります。話されている内容がわかるというわけでは決してありませんが、かつてであれば実際に現地に行って街中でしか感じられなかったような空気も、語りや会話から伝わってくるように感じられます。

いま、3年生のゼミの中で、新たな技術の開発・導入やこれに伴うサービスの創出・展開といったイノベーションと、これらもたらす制度や政策との関係（さらにいえば、齟齬や調和）についてともに考えていますが、少なくとも私たちが日常生活を送るうえで、それほど特別な技術や技能がなくとも（制度的にはグレーな部分が存在する場合もあり利用者として自ら使い方に気を配らなければなりません）、どんどん新しい技術やサービスを享受することができるようになってきました。インターネット・ラジオも、そのようなサービスの一つです。また、インターネットでは、ラジオに限らず、ニュースなど、現地で発行されている新聞の概要なども、おおかた無料で読むことができるようになってきました。テレビ番組の一部でさえ見ることができず、地理的・地域的制約が少なくなってきたのです。

英語は、現在の、国際的なコミュニケーションの一種のデファクト・スタンダード（事実上の標準）として、これを皆さんには扱えるようになってもらうのは当然として、この夏休みにいろいろなことにチャレンジしやすい機会を利用して、外国の音楽やアートなどにインターネットを通じて“直に”触れてみたり、皆さんの関心に近い文化との関連が深い国の言語である第二の外国語にもさらに取りかかってみたりするというのはいかがでしょう。後者についていえば、多くの言語で文書が英語に翻訳されるなどして世界には英語による情報が溢れているかのように見えます。しかし、日本について考えれば容易に想像がつくように、原語による情報と比較すれば英語による情報は限定されたものであり、また、その情報は英語を母語とする国々の文化を背景とするものも多いように思われます。

インターネットという現代の利器を活用して、日本（あるいは英語を母語とする国々）という“眼鏡”を通してではなく、それぞれの文化のありようを尊重し、またその多様性を理解して、世界について、“相対化”したバランスのとれた視野を持ってもらえるといいのではないかと思います。これをきっかけとしてきっと、コミュニケーションの範囲は百倍にも千倍にも拡がり、またその質もより深いものとなっていくことでしょう。 (いじち ともひろ イノベーション政策論 担当)

(題字は書道愛好会 小田朋未 07年卒)



ALC NetAcademy2を活用しよう！

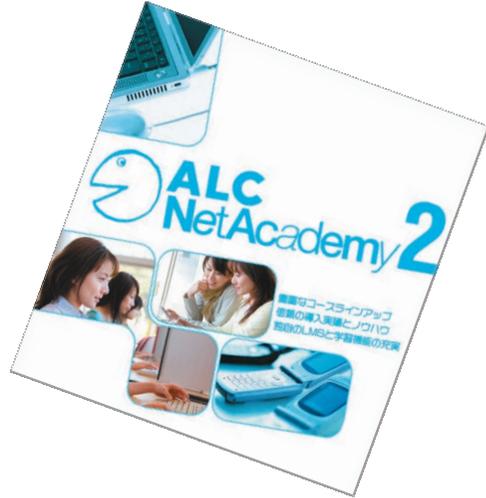
メディアネットワークセンター

ALC NetAcademy2とは？

成城大学に在学中の学生のみなさんならどなたでも学習できる英語のeラーニング教材です。

インターネットでさまざまなレベルの英語の学習ができます。

TOEICテストの準備、高校までの英語の復習、さらにハイレベルな英語へのチャレンジにご利用ください。



どこで学習できるの？

メディアネットワークセンター・オープンルームで。持ちこみのPCで学内の無線LANスペースで。

そしてみなさんの自宅のPCでも!!

もちろん無料です。

教材やソフトは大学のサーバーに入っているの、学生のみなさんには費用はかかりません!

どうやってアクセスするの？

大学のホームページからアクセスします。

<https://alc.stu.seijo.ac.jp/anet2/>

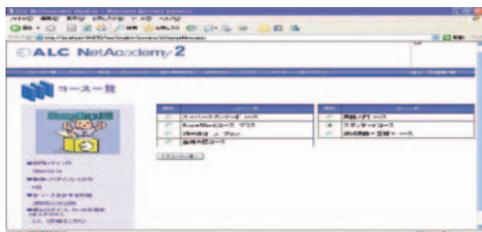
インターネットユーザーIDとパスワードが必要です。

一部モバイルからもアクセス可能！

道場（語彙テスト）は携帯電話でもできます。通学途中で勉強してみよう。

It's Time To Start !

ログイン後のトップページ



総学習時間、ランキングの順位、時間割、小テスト、管理者からのお知らせなどを確認できます。

学習画面の一例



リスニングやリーディングなど、豊富な教材の中からあなたのレベルに合わせて学習できます。またTOEICテスト対策としても有効です。

平成19年度 成城大学・成城大学短期大学部特待生について

平成19年度本学特待生として、本学学部2年生以上に在籍している学生を対象に、人物・学業ともに優秀な者を選出し、下記のとおり決定しました。

6月28日（木）に大学2号館会議室において表彰式が開催され、各学部長、教務部長、入試広報部長、学生部長ならびに大学事務局長出席のもと、清水学長より特待生に対し表彰状が授与されました。

～平成19年度特待生～

経済学部	
2年D組	小柴 紳一郎
2年E組	内山 真由美
2年K組	勝田 末緒
3年E組	河野 香織
3年F組	村松 あづさ
3年L組	今榮 真美
4年E組	最上 麻美
4年G組	廣瀬 玲
4年L組	内野 晃佑

文芸学部	
2年B組	神戸 崇寛
2年C組	一柳 友子
2年D組	小澤 葉菜
3年B組	庄子 学
3年E組	岡 秋穂
3年E組	瀬崎 友那
4年A組	北川 智隆
4年A組	岡野 かおり
4年A組	武藤 那賀子

法学部	
2年D組	和地 一樹
3年F組	小野 歩美
3年F組	岸 秀行
4年D組	前島 美咲
4年H組	藤本 央
他 1名	
社会イノベーション学部	
2年E組	佐野 絢実
2年I組	藤川 文雄
3年D組	堀田 恭子
3年I組	高橋 智佳



表彰式後に記念撮影

～特待生のコメント～

3年連続特待生となった方にコメントをいただきました。

三年連続で特待生に選んで頂き、大学生活最高の記念となりました。関係各位に、心より御礼申し上げます。

大学入学時にどんな学生生活を送ろうかと考えた時、仕事はこの先の人生でいくらでも出来る、今は愚直でも学生の身分である学業を第一に過ごそうと考えました。そのご褒美として、この栄誉を頂けたのだと思います。今後社会に出てからも、この経験を活かしていきたいと思っています。

成城大学のますますのご発展をお祈り致します。

経済学部経営学科4年 廣瀬 玲

川上宏奨学基金について

この奨学基金は、故川上宏教授（文芸学部マスコミュニケーション学科：平成6年逝去）のご遺志により、その寄付金を基に平成9年度から設立されたものです。給付対象は、文芸学部マスコミュニケーション学科及び大学院文学研究科コミュニケーション学専攻の在籍学生で、選考委員会の審議を経て、下記の2名の方が受給者に決定しました。

文学研究科コミュニケーション学専攻 博士課程前期2年 榎木 一矢

研究題目「大学生が行う迷信的行動からみた迷信的思考と科学的思考の役割と、その選択基準」

文芸学部マスコミュニケーション学科4年 高橋 亜希奈

研究題目「沖永良部島での青春 ～島の高校生達は今、何を思うのか～」

なお、去る7月23日に給付式が行われ、ご遺族から本人に奨学金が授与されました



2007年 「成城 学びの森」 開催のお知らせ

◎コミュニティー・カレッジ秋冬講座

本年度のコミュニティー・カレッジ春夏講座は、お蔭様をもちまして好評のうちに終わりました。秋冬講座につきましては、本講座案内にありますようにより多様な講座を用意することができました。本講座は、生涯学習支援事業として一般社会人を対象としておりますが、学生諸君、およびご父母の皆様にもご参加いただけるものです。詳しくは、下記事務局までお問い合わせください。

■講座日程・内容等について（一覧）

01 ラテンアメリカ史の光りと蔭 第2部 講師：中川 和彦	月曜（18:30～19:50） ①10月15日②10月29日③11月12日④11月19日⑤12月3日⑥12月10日	受講料10,800円
02 ことばから考える古代日本人の世界観 講師：工藤 力男	火曜（18:30～19:50） ①10月2日②10月16日③10月30日④11月13日⑤11月27日⑥12月11日	受講料10,800円
03 怖くて美しい小泉八雲「怪談」の魅力ー 講師：牧野 陽子	火曜（18:30～19:50） ①10月9日②10月23日③11月6日④11月20日⑤12月4日	受講料9,000円
04 江戸を歩くー日本橋散歩ー 講師：吉原 健一郎/中村 洋子/小沢 詠美子	講義：火曜（18:30～19:50） 巡見：土曜（12/15:午後） ①11月6日②11月20日③12月4日④12月15日	受講料7,200円
05 「たけくらべ」の真実を読む 講師：近藤 典彦	講義：水曜（18:30～19:50） 現地調査：金曜（11/23:13:00～16:00） ①10月3日②10月17日③11月14日④11月23日⑤11月28日⑥12月12日	受講料10,800円
06 白洲正子に学ぶ日本の美術 講師：青柳 恵介	水曜（18:30～19:50） ①10月10日②10月24日③11月7日④11月21日⑤12月5日	受講料9,000円
07 バッハのカンタータ 講師：小林 義武	水曜（18:30～19:50） ①11月7日②11月14日③11月21日④11月28日⑤12月5日⑥12月12日	受講料10,800円
08 意外や意外！ー面白ポーランド入門（ポーランド的なものを求めて）ー 講師：土谷 直人	木曜（18:30～19:50） ①10月4日②10月18日③11月15日④11月22日⑤12月6日⑥12月13日	受講料10,800円
09 思い出と記憶の心理学 講師：野島 久雄	木曜（18:30～19:50） ①10月11日②10月25日③11月8日④11月29日	受講料7,200円
10 にんげんの本性を考える Part II 講師：Dennis Riches	木曜（18:30～19:50） ①10月4日②10月11日③10月18日④10月25日⑤11月8日⑥11月15日	受講料10,800円
11 ドラマの英語ーシャーロック・ホームズを楽しむ②ー 講師：杉本 豊久	金曜（18:30～19:50） ①10月5日②10月12日③10月26日④11月9日⑤11月30日⑥12月14日	受講料10,800円
12 成人期からの発達と心理的課題ー人生後半をどう生きるか！ー 講師：西居 淳子	金曜（18:30～19:50） ①10月5日②10月12日③10月19日④11月9日⑤11月16日	受講料9,000円
13 近代日本文学の名作短編小説を味読する 講師：池田 一彦	金曜（18:30～19:50） ①10月19日②10月26日③11月16日④11月30日⑤12月7日⑥12月14日	受講料10,800円
14 柳田國男とグリム童話ー比較民話学への招待ー 講師：高木 昌史	土曜（10:40～12:00） ①10月6日②10月20日③11月10日④11月24日⑤12月1日⑥12月15日	受講料10,800円
15 映画で楽しむ英米文学 講師：松浦 暢	土曜（13:00～14:20） ①10月6日②10月20日③10月27日④11月10日⑤11月24日⑥12月1日	受講料10,800円
16 ミュージカル映画の成熟と変質 講師：木村 建哉	土曜（試写原則10:30～12:00、変則9:30、10:00開始あり、講義13:00～14:20） ①10月20日②10月27日③11月24日④12月1日⑤12月15日	受講料9,000円
17 シルクロードに栄えた仏達ー麦積山石窟の塑像ー 講師：東山 健吾	土曜（14:40～16:00） ①10月20日②10月27日③11月10日④11月24日⑤12月1日	受講料9,000円

■申し込み方法等

○ お申し込みにあたって

- ・ 所定の申込書が必要となりますので、事前にパンフレットをご請求ください。なお、「成城 学びの森」サイトから申込書を印刷できます。
- ・ 本学学生は「希望する講座の全日程に出席する」「運営の手伝いをする」等の条件で無料で聴講できます。詳しくは、事務局までお問い合わせください。

○ 申込期間

9/10（月）～ 9/28（金）（消印有効）

* 申込期間以前のお申し込みはお受けできませんのでご注意ください。

* なお、申込期間以降において、席に余裕がある場合はお申込をお受けすることがございますのでお問い合わせください。

◎オープン・カレッジ

昨年に引き続き、卒業生を講師に迎え、成城発「創」を統一テーマとして、下記のとおりオープン・カレッジを開催いたします。地域に対してより一層大学を開放するとともに、内容を充実させてまいります。学生諸君およびご父母のご参加を歓迎いたします。

第1回 10月13日(土) 「人間は、未来を創る生きものです。」
大林 宣彦 氏：映画作家(本学文芸学部中退、現尚美学園大学大学院芸術情報研究科教授)

第2回 11月17日(土) 「創造力は、想像力。」
荻原 浩 氏：作家(本学経済学部卒)

第3回 12月 8日(土) 「音を創る、間を創る—三味線ってなあに?—」
杵家 弥七 氏：長唄杵家派6世家元(本学文芸学部卒)

- 時 間：午後1時30分～3時30分
- 会 場：成城大学3号館 地下1階003教室
- 定 員：各回 400名程度

■お申し込みについて

ご希望の方は下記の方法でお申し込みください。(電話でのお申し込みはご容赦ください。)

○お申し込み方法

(ご父母の方)

- ・はがきでお申し込みの場合
官製はがきに氏名、住所、電話番号、ご希望の回と日付をご明記の上、お申込ください。
- ・メール、ファックスでご希望の場合
氏名、住所、電話番号、ご希望の回と日付をご明記の上、お申込ください。

(在学生)

- ・学生証を持参の上、企画調整室にてご希望日の登録をしてください。

- オープン・カレッジは、無料ですが、事前予約が必要です。
- 申込受付 それぞれの回ごとに受付開始日が異なっておりますので、ご注意ください。

第1回 9月21日(金) 8:30より

第2回 10月29日(月) 8:30より

第3回 11月19日(月) 8:30より

*受付開始日以前のお申し込みはお受けできませんのでご注意ください。

- 先着順とし、定員になり次第、お申し込みを終了させていただきます。
- 複数人数での参加をご希望の方は、参加者全員のお名前をご明記ください。
- 開催1週間前から、参加証をお送りいたしますので、当日ご持参ください。

【パンフレット請求・問い合わせ先・申込先】

成城大学「成城 学びの森」

コミュニティー・カレッジ

オープン・カレッジ 事務局(企画調整室)

〒157-8511 世田谷区成城6-1-20

TEL 03-3482-9031 FAX 03-3482-6360

URL <http://www.seijo.ac.jp> E-mail manabi@seijo.ac.jp



Campus Seijo Information

夏季休暇期間中のサービス日時

		7月									8月																	
		25	26	27	28	29	30	31	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
		水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月
各 部 署	教務部	教務課 学務課																										
	就職部	平常どおり 平日 8:30-16:30 土曜 8:30-13:00																										
	国際交流室	9:00-16:00																										
	企画調整室	9:00-16:00																										
各 学 部	学生部	学生課 大学保健室 学生相談室																										
	学生部	平常どおり(★) 平日 10:00-17:00 土曜 10:00-13:00																										
各 学 部	経済学部 研究室	平常どおり 平日 8:30-16:30 土曜 8:30-13:00																										
	文芸学部 講師控え室	9:00-16:00																										
	法学部 資料室	平常どおり(◎) 月火木金 9:00-19:00 水 9:00-20:00 / 土 8:30-15:00																										
	社会イノベーション学部 教員資料室	平常どおり 平日 8:30-16:30 土曜 8:30-13:00																										
サ ー ビ ス 施 設	トレーニングセンター	10:00-18:00 受付は17:00まで 利用は17:30まで																										
	メディアネットワークセンター オープンルーム	平日 9:00-17:00 土曜 9:00-13:00																										
	図書館 (開館時間)	平日 9:00-17:00 土曜 9:00-12:00																										

夏季一斉休業

8月1日～9月4日までの土曜日も夏季休業

グレー部分は
閉室または閉館

図書館

利用時間	月～金	土
メインカウンター	10:00～17:00	9:00～12:00
B3書庫等 (出納時間)	10:00～16:30	9:00～11:30
レファレンスカウンター	10:00～17:00	9:00～12:00
AVカウンター	10:00～16:30 受付終了 16:00	9:00～11:50 受付終了 11:20

夏休み貸出図書返却期限日：10/2 (火)

学生相談室

- ★面接希望者は、事前に予約を入れた方が確実です。(03-3482-9086)
- ★夏季休暇中、医師による面接はありません。

平成19年度学年暦

- 9月23日(日) 夏季休暇終了
- 25日(火) 後期授業開始
- 10月19日(金) 第58回四大学運動競技大会
- 20日(土) 会場：成蹊大学
- 21日(日) *19・20日は休講
- 31日(水) 土曜日の振り替え授業を実施
※通常の水曜日の授業は行わない
- 11月 1日(木) 文化祭準備 (休講)
- 2日(金) 学園文化祭—大学祭—
- 3日(土) 〃 —文化の日—
- 4日(日) 文化祭後片づけ



主な関係部署の電話番号

大 学 関 係	教務部	教務課	03-3482-9045
		学務課	03-3482-9054
	学生部	学生課	03-3482-9081
		学生相談室	03-3482-9086
		大学保健室	03-3482-9085
		トレーニングセンター	03-3482-5790
	就 職 部		03-3482-9063
	国際交流室		03-3482-9020
	企画調整室		03-3482-9031
	大学図書館		03-3482-3555
	メディアネットワークセンター		03-3482-2165
	総 務 課		03-3482-2101
	管 理 課		03-3482-9239
	入試広報部		03-3482-9100
	経 済 学 部		03-3482-9403
文 芸 学 部		03-3482-9412	
法 学 部		03-3482-9644	
社会イノベーション学部		03-3482-9009	
学 園 関 係	会 計 課		03-3482-1302
	管 財 課		03-3482-1409
	学園正門案内所		03-3482-1452
	伊勢原総合グラウンド		0463-93-0771



↑詳細は、HPトップページ「受験生」をクリック!

<http://www.seijo.ac.jp>

編集後記

●暑い夏だ。夏は暑いものと知ってはいても、つい冷蔵庫に手が伸び、冷房の効いた部屋でくうたらしてしまう。これではいけない。シヤキツとしなければ……。

シヤキツとするには、どうするか?

便所でも掃除してみることだ。座禅でも組んでみることだ。

——掃除してなんぼになる? 座禅して何になる? ——してみなけりゃ分かん。ひたすら便器を磨き上げるのだ。悩みも暑さもかなぐり捨ててただドカンと坐るのだ。

金で幸せが買えるか? 理屈で人生分かるか? つべこべ言わずにやってみろ!!

「求むる所は、第一義だ」(学園創設者澤柳政太郎先生)。金でもない。理屈でもない。そんなものは、第二義、第三義でしかない。だから掃除しろ。だから座禅組め。

真面目に馬鹿をやれるのは学生の特権だ。せっかくの夏休み、馬鹿を真剣にやれる、大馬鹿者はいないものか。 (学生部長 上野英二)



～今号の表紙～

竣工を間近に控えた3号館
地上8階建のこの建物の1階
には、3階まで吹抜けの広々
とした学生ホールがありま
す。休み時間や食事の時には
ここでゆっくりしては、
撮影：佐藤(学生部)

学生生活 216号

発行日 平成19年8月1日

編集・発行 成城大学 学生部

〒157-8511 世田谷区成城6-1-20

編集責任者 上野英二

編 集 中村睦久・山本留実・佐藤英之

印 刷 株式会社 芳文社